

筒井宣政さんと家族の物語と 起業・会社設立の経緯が 東宝・WOWOW製作で映画化

余命10年を宣告された次女を救うために、すべてを投げうって「IABPバルーンカテーテル」の開発に挑んだ筒井さん（1964年経済学部卒）。彼をモデルとする主人公の坪井宣政を演じるのは、大河



大泉洋 菅野美穂 福本莉子 川栄李奈 新井美羽

原作：清武英利「アトム的心臓『ディア・ファミリー』23年間の記録」（文芸春秋）

監督：月川翔 脚本：林長夫 音楽：兼松衆

制作：東宝・WOWOW 製作プロダクション：TOHOスタジオ 配給：東宝

絶対にあきらめない家族が挑んだ、〈23年間の愛の実話〉。

2024
6.14
FRI
Roadshow

ドラマ『鎌倉殿の13人』での好演や、3年連続での紅白歌合戦の司会、主演映画『月の満ち欠け』で第46回日本アカデミー賞優秀主演男優賞の4度目の受賞など、マルチな活躍で絶大な人気を誇る大泉洋さん。

実際に一人娘を持つ大泉さんは今作に臨むにあたり「脚本を読んだ時『私の命はもう大丈夫だから、その知識を苦しんでいる人のために使って』という台詞に心を突き動かされました。自分も子供の親として、引き受けねばとても苦しい撮影期間になるということは予想できましたが、娘の命を救いたいという一心で立ち上がり、絶対に諦めないこの家族の強さが観た人を必ずや勇気づけてくれると信じて、出演を決めさせていただきました」とコメントしています。

また、今作の監督は、『君の隣にいたい』（2017年公開）『君は月夜に光り輝く』（劇場版として、生きる）（共に2019年公開）など、死生観にまつわる感涙作を生み出してきた月川翔さんです。映画『ディア・ファミリー』は2024年6月14日に公開が決定しています。絶対にあきらめない家族が起こした大きな奇跡の物語をぜひご覧ください。

関学エンタメ人が集結！

「上ヶ原ふうるうえ〜」みんなで久々に校歌を歌って心が震えて泣きそうになった。

「上京してエンタメ業界で頑張っている関学OBOG会」を東京の目黒で開催しました。

37年前に関学を卒業しエンターテインメントの世界に飛び込んだ新入社員は、知り合いが全くない東京で途方に暮れていました。当時、関学のエンタメ界には関学出身者が大勢いましたが、東京には本当に少なくて。

ところが、いつの間にか東京のエンタメ界に関学の卒業生が増えていることに気づき、一度集まってみようかと思いました。私が知る東京で働く関学出身のエンタメ人は、今回の発起人メンバー（大熊・成・小西

啓介・辻野学・永田琴・三谷夫）を含め15人くらいなので、目標は30人でした。がこの発起人連の人数で、上は1982年から下は2023年卒業まで、なんと80人も集まりました。

映画・音楽・芸能プロダクション・広告・出版・テレビ・配信・舞台、そして個人では、アウンサー・カメラマン・脚本家・俳優・ライター・落語家など、関学らしい個性あふれる多種多様なメンバーです。

コロナ禍でエンタメは衣食住とは関係のないつまり無くても生きていけるという扱いを受け、かなりつらい思いをしました。それでも私たちエンタメ人のスピリッツは「人を笑わせたい泣かせたい感動させたい」に尽きます。

関学出身者が東京で、その精神で頑張っていることを、ぜひ同窓の皆さんに伝えたいと思います。そして、私たちの後の世代にそれを受け継いでほしいです。



司会の津田麻莉奈
(2010年総合政策学部卒)

関学出身者が東京で、その精神で頑張っていることを、ぜひ同窓の皆さんに伝えたいと思います。そして、私たちの後の世代にそれを受け継いでほしいです。



「発起人」※右から
小西啓介(1992年卒 ハビネットファントム・スタジオ 代表取締役社長)
大熊一成(1992年卒 ボニーキャニオン 取締役)
津嶋敬介(1987年卒 ホリプロ 取締役)
永田琴(1995年卒 映画監督)
辻野学(1995年卒 ソニー・ミュージックレーベルズ 代表取締役社長)
三谷夫(1998年卒 映画24区代表)

文/ 津嶋 敬介
1987年法学部卒

全国公開 6.7 2024 FRI 映画のお知らせ

発起人の4人(津嶋・大熊・小西・辻野)が共に作った映画『かくしごと』は、泣ける・ヒューマンミステリー。
出演：杏・佐津川愛美・酒向芳・木竜麻生・安藤政信・奥田瑛二ほか 監督：関根光才 主題歌：羊文学

2024 Spring

母校通信 153号

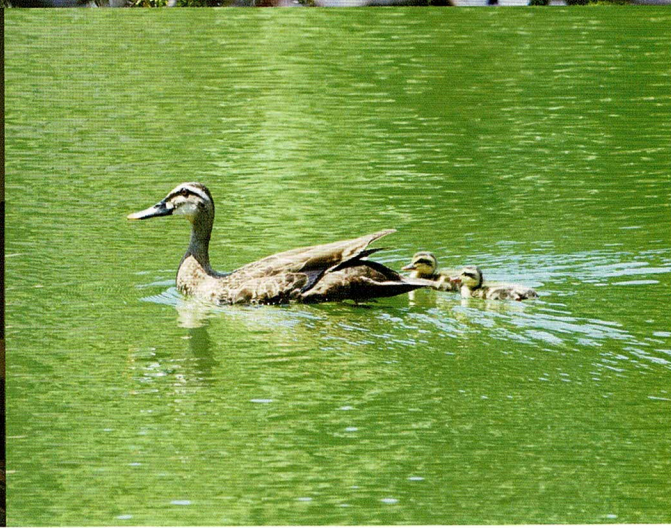
"Mastery for Service"



巻頭企画

— 防衛省・自衛隊で活躍された同窓生とともに

日本の防衛を考える



関西学院同窓会